

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	林業関係負担金事務		コード	04-01-02-10	担当課係	産業建設課林政係
事業実施期間			担当者	尾野田		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり				
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり				
	小項目	林業				
	施策	森林組合などへの支援				

事業について	
目的	補助金及び負担金を支払うことで、林業の振興を図る。
対象 (誰のために)	森林の所有者、利用者及び林道利用者
内容	森林組合などの各種林業推進団体に負担金を支払うことにより、林業に関する情報の提供を受けたり、事業の推進を図る。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
負担金件数	8 件		
補助金件数	3 件		
交付金件数	3 件		
出資金件数	1 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14,014	国庫補助金等	7,341	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,220	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	15,234	一般財源等	7,893	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.15	人
結果指標①	結果指標名	負担金件数
	結果指標量	8
	単位	件
	対前年比	—
	事業費	1,088,433 円
	単当たりコスト①	136,054 円
結果指標②	結果指標名	交付金件数
	結果指標量	3
	単位	件
	対前年比	—
	事業費	9,786,233 円
	単当たりコスト②	3,262,078 円

事業の成果	
成果指標名	設定できない
	式又は説明
成果指標量	17年度
対前年比	—
到達目標値	到達目標年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	負担金については、過去から支出しているものがあるので妥当性を検討していく。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	負担金については、内容を見直し、削減できるものは総会等で会費の減額を要求する。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	負担金の内容を検討し、必要性の低いものは、順次見直しを行っていく。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	本事務は他市町と共同でつけた会が多いため、負担金の額を変えることはできないが、会計報告を確認しながら改善点があれば要求していく。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	妥当性	負担金の内容の検討		負担金の減額
	効率性	会費の減額要求		負担金の減額
	有効性	負担金の取捨選択		負担金の減額

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。